

カントウタンポポ

キク科 タンポポ属



総苞片(そうほうへん)
が、めくれない。

特長:2月から5月にかけて咲く。夏に葉を落として仮眠する性質がある。セイヨウタンポポに比べて、舌状花が少ない。

指標性と選定理由:

表土のかく乱などによって、姿を消してしまい、分布の拡大能力が帰化種に比べて低い。外来種との区別が容易。

調査に適した時期:4月

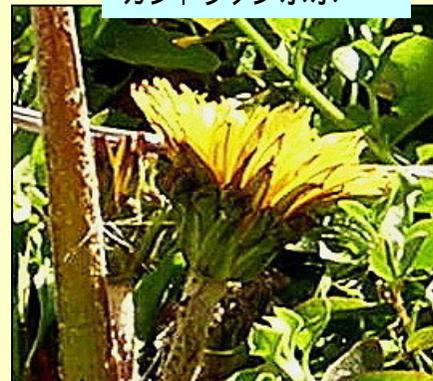
生息環境と調査のコツ:

区画整理や圃場整備されていない農地の土手などに多い。純粋な草原性種というよりも、草刈管理の行き届いた土手の植物というほうが適切か? タンポポには多くの種があるが、細かい分類は不必要で、外来種との判別のみできればよい。

近似種:セイヨウタンポポ(外来種)

識別点:総苞片にごつごつしたものがあり、反り返っていないのが、カントウタンポポ

カントウタンポポ



セイヨウタンポポ

